

「市民と語る会」で市民から寄せられた意見等と市当局からの回答

No.	日時	開催地域	市民からの発言（概要）	回答
1	5月21日	みなとか まいし地 区会議	釜石市役所新庁舎は、地域の環境整備後に着工の予定だったが、市道などは改良されないまま着工されている。今後どのように整備されていくのか。	新市庁舎建設工事に合わせて新規市道（天神町5号線）の整備や交差点の改良工事等を行っています。新市庁舎建設工事完了に合わせて本舗装を実施し共用開始を予定しているところです。 また、敷地背後地の沢対策につきましても、岩手県において砂防事業を実施しており今年度には完了するところです。
2	5月21日	みなとか まいし地 区会議	震災前は天神公園など3公園あったが、今後の整備予定は。	庁舎跡地検討における公園等の整備の必要性や可能性について、今後庁内における議論を進めてまいります。
3	5月21日	みなとか まいし地 区会議	公共交通機関、特にバスの利用が不便。県立病院までタクシーだと片道3000円かかる。何か対策は。	現在、独立採算で運行しているバス事業者は、乗客減少等の実績により運行本数を減らす等の対応を行っています。皆様には、運行維持のためにも引き続きバス利用をお願いするとともに、バス事業者に対しては、市民が利用しやすいダイヤの構築を依頼してまいります。
4	5月21日	みなとか まいし地 区会議	町内会役員、自主防災組織のなり手が不足し、会費収入も減少している。要介護者の把握も難しいので地域に入って調査をお願いしたい。	町内会役員の成り手がないという課題は、多くの地域で共通の課題となっています。役員の役割や負担を見直し、一人当たりの負担を軽減することやこれまでの活動の規模を縮小する等、対策を組み合わせ、地域全体で協力し合える環境を作り上げることを提案します。 市内の要介護者の状況は、各種サービスの利用状況や訪問調査などにより把握しておりますが、個人情報であることをお知らせすることはできません。 災害発生時または災害が発生するおそれがある場合に支援を希望する避難行動要支援者の登録情報については、本人の同意を得て町内会等支援関係者間で共有しております。
5	5月21日	みなとか まいし地 区会議	スケートボードの練習場所について、市内でも子供たちが練習するようになっている。小さくても公園などに練習場所を作れないか。	市内公園等の整備については、震災で仮設住宅等に使用されていた復旧公園を優先に整備を進めているところであり、新たなスケートボード練習場の整備については、多額の事業費を要することから、困難であると捉えています。
6	5月21日	みなとか まいし地 区会議	深夜12時以降タクシーが走っていない。救急搬送された後、病院から帰ろうと思ってもタクシーが走っていないため、朝まで病院で待った事例があるが、対策は。	利用者が少ない深夜の時間帯における交通手段の確保については現状難しいものと捉えています。 今後、医療担当課と意見交換しながら対応策を考えてまいります。

「市民と語る会」で市民から寄せられた意見等と市当局からの回答

No.	日時	開催地域	市民からの発言（概要）	回答
7	5月22日	中妻地区	千鳥町から中妻にかけて、空き家が非常に多くなってきている。空き家に蜂の巣が出来ても、無断で入ることも出来ず困っている。	当市では、空家等の発生の抑制、活用の拡大、適切な管理の確保及び除却等に係る取組を推進しております。 近隣に影響を及ぼしている空家等については、所有者等に対して適正管理の依頼を行いますので、空家等の所在地及び状況を確認の上、ご相談をお願いします。
8	5月22日	中妻地区	千鳥町民が買い物難民になりつつある。タクシーを使って移動するが、タクシー代の補助はないのか。	市内での買い物に際して、交通手段の確保が困難な方々への支援策を検討してきたところですが、現状で買い物を理由とした市独自のタクシー代の補助はありません。 引き続き、市内小売店の動向、並びに国及び県の施策に注視し支援策を検討してまいります。
9	5月22日	中妻地区	自動車で避難してはいけないとになっているが、高齢者が増えて現状とは合っていない。ルールの見直しと、山に向かって逃げる道を作つてはどうか。	令和4年3月に岩手県が公表した最大クラスの津波浸水想定では、令和2年の日本海溝・千島海溝周辺海溝型地震による津波浸水想定よりも大幅に広がりましたが、県想定による中妻地区の浸水開始時間は地震発生後30分以上であることから、早期の避難行動開始であれば徒歩避難でも可能と考えます。ただし、避難行動要支援者等、単独での避難が難しい方は自動車を使用した避難も可能ではありますが、地震発生後の停電による渋滞発生の懸念もございます。 漁村部等の交差点もなく、徒歩避難者の避難の妨げにもならない、海岸から高台への一本道のような場所であれば、訓練により自動車避難は可能と考えますが、市街地での交差点がある場所においては難しいと考えます。また、新たな道路の建設も財政的に厳しいことから、日頃の訓練を重ねることが大切と考えます。訓練につきましては防災危機管理課も参加し、共に意見を交わしよりよい避難方法を模索したいと思います。
10	5月22日	中妻地区	婦人科の病院がないし、循環器系の病院もない。家族が心筋梗塞で救急搬送されたが、大船渡の病院だった。これでは助かる命も助からない。	市内で医療が完結できるよう県立釜石病院の医療提供体制の充実、普通分娩の再開、婦人科の新規外来及び妊婦健診の再開の実現などについて、県医療局及び県関係部局への働きかけを継続していきます。 救命救急の向上を図る取り組みとして、県立大船渡病院が運用しているドクターカー（必要に応じて医師や看護師が搬送患者の元に駆けつけ、救急車と合流）の運用が、令和7年度上半期中に当市においても運用される予定です。 急性期病院を退院後の回復期・慢性期等を担う医療機関が連携して地域医療連携推進法人設立に向けて準備を進めており、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりを目指し、取り組みを進めます。

「市民と語る会」で市民から寄せられた意見等と市当局からの回答

No.	日時	開催地域	市民からの発言（概要）	回答
11	5月22日	中妻地区	上中島児童館について、令和6年4月から0～18歳の子供たちが利用できるようにし、利用者数も増えているところだが、児童館の活動費が年々減らされている。	児童の健全育成を目的に、市内4か所の児童館に組織されたいた自主的な団体「母親クラブ」は、幼児型保育の休止や会員の減少により3か所は活動を休止しております。 「母親クラブ活動費補助金」は実情の活動に対し支援を行うことを目的としていますので減額はやむを得ないものとご理解をお願いいたします。 なお、児童館の運営活動費については委託料として計上しております。子どもの居場所として、児童館活動はなくてはならないものと認識し、委託先と協働し機能の充実を図ってまいります。
12	5月24日	小佐野地区	定内公園(通称:とんがり公園)のトイレが老朽化しているが、今後の整備の予定は。	市内各公園施設において、遊具やベンチ、水飲み場等を優先に計画的に更新を進めているところであります。 トイレの老朽化については、課題の一つとして認識しておりますが、財源確保が困難な状況であり、当面修繕等の対応により維持管理してまいります。
13	5月24日	小佐野地区	民生委員が欠員状態になっている。行政連絡員の集金業務も難しくなっている。	小佐野地区では、現在25地区のうち2地区で民生委員の欠員が生じておますが、うち1地区では候補者が内定し、未選出は1地区（野田町2丁目の一部）のみとなっております。行政としても積極的に候補者確保に取り組むとともに、高齢者や働いている人でも委員を引き受けていただけるよう、業務負担軽減に努めています。 戸別集金が難しい地区においては、町内会・自治会単位での納入をお願いするなど地域ごとの実情に合った納入方法を取り入れます。また、チラシの全戸配布により、災害救護や社会福祉の増進を目的とする募金の趣旨を市民の皆様にご理解いただくとともに、クレジットカードやアプリを使用した納入方法をご案内し、行政連絡員の皆様の業務負担軽減に取り組みます。
14	5月24日	小佐野地区	高齢化が進み土手の草刈りが大変だ。若い人たちの参加は少なく、高齢者が中心になっている。	甲子川の草刈り等維持業務に関しては、市が県から受託し、市から地元町内会等に業務を依頼しているものであり、R6年度は、8団体に実施していただきました。参加者の高齢化につきましては、大きな課題であり、近年では維持業務を辞退する町内会も出てきております。 市としては、地域の方々が美化活動、環境保全活動することにより、地元河川を愛護する気持ちが醸成できるものと考えており、地元町内会による、河川維持活動を継続していただきたいと考えております。 市として、どのような支援をすることができるのか、県とも調整したいと考えております。

「市民と語る会」で市民から寄せられた意見等と市当局からの回答

No.	日時	開催地域	市民からの発言（概要）	回答
15	5月24日	小佐野地区	小佐野中学校が取り壊され、今後どのようにこの土地を活用していくのかを知りたい。また、中学校跡地にコミュニティーセンターを建て直す話はどうなったのか。	旧小佐野中学校跡地につきましては、地権者様と解体後の利活用について協議した結果、市として、東日本大震災の経験も踏まえ、有事の際の防災拠点用地としての利用と平常時の利用として、慢性的に不足している小佐野地区生活応援センター、図書館の利用者の駐車場用地や、各町内会、小学校、保育園の行事など、公共の用に供する場合に利用しております。 また応援センターの建て替えについては、建設に係る費用が大幅に見込まれることから、現地建て替えも含め、再検討が必要と考えます。
16	5月24日	小佐野地区	災害時は車を置いて避難するようにとのことだが、内陸地ではどうなのか。また、大人数を一度に避難させる方法も考えるべきではないか。高齢化が進み、要支援者の人数が増えており、人手不足が懸念される。	台風等の気象災害においては、天気予報の情報により事前の避難準備もできることから、自動車を使った避難は可能と考えますが、避難所の駐車台数にも限りはあります。 避難方法については、地域から避難所までの距離や地域に居住する高齢者等の把握が大切になってくることから普段の訓練を通じ、課題の洗い出し→再度訓練を行うことが必要となります。訓練については防災危機管理課も参加をいたします。
17	5月24日	小佐野地区	支援学校の跡地は今後どうなるのか。	支援学校跡地は県所有地であり、今のところ跡地利用についての情報は得ておりません。
18	5月24日	小佐野地区	空き家が多くなり、動物の侵入等、地域住民は不安である。	当市では、空家等の発生の抑制、活用の拡大、適切な管理の確保及び除却等に係る取組を推進しております。近隣に影響を及ぼしている空家等については、所有者等に対して適正管理の依頼を行いますので、空家等の所在地及び状況を確認の上、ご相談をお願いします。
19	5月24日	小佐野地区	小佐野町内に街路灯が113機あるが、この維持費用を町内会で負担していくのは大変だ。	町内会として既存の防犯灯設置場所の中で集約や撤去が可能な場所は無いか、また、エネルギー効率の高いLED化されていない街灯は無いかなどの確認を行い、維持管理費削減の検討をお願いします。
20	7月22日	橋野地区	橋野地区のシカはかなり減少したが、熊、イノシシの被害が増えている。熊が有害指定鳥獣になったとのことだが、県行政は捕えても放獣し、補助金を生息調査や駆除する人材育成に使っており、おかしいと思う。当市は水産業に力を入れ、農林業は後であり、担当課の対応は良くない。和山はシカが増え、シカ牧場になっている。	橋野地区に限らず、釜石市全域において、シカの被害が深刻化していると認識しております。 また、ニホンジカやツキノワグマの他、様々な野生鳥獣の被害につきましても、鳥獣の種類に応じた対策が求められておりますので、引き続き、地元猟友会の助言を受けながら、適切に対応してまいります。

「市民と語る会」で市民から寄せられた意見等と市当局からの回答

No.	日時	開催地域	市民からの発言（概要）	回答
21	7月22日	橋野地区	産婦人科もなく子供を産めないまちに、若い人は不安で住めない。県立釜石病院に行っても県立大船渡病院に回されるようでは安心して暮らせない。	<p>市内で医療が完結できるよう県立釜石病院の医療提供体制の充実、普通分娩の再開、婦人科の新規外来及び妊婦健診の再開の実現などについて、県医療局及び県関係部局への働きかけを継続していきます。</p> <p>出生数や人口が減少する中、症例数を確保し、高度な医療を確保するためには、周産期医療などの広域化は避けられない状況です。市としても、広域化に伴う課題を整理し、対応策を検討してまいります。</p> <p>救命救急の向上を図る取り組みとして、県立大船渡病院が運用しているドクターカー（必要に応じて医師や看護師が搬送患者の元に駆けつけ、救急車と合流）の運用が、令和7年度上半期中に当市においても運用される予定です。</p> <p>急性期病院を退院後の回復期・慢性期等を担う医療機関が連携して地域医療連携推進法人設立に向けて準備を進めており、住み慣れた地域で安心して暮らすことができるまちづくりを目指し、取り組みを進めます。</p>
22	7月22日	橋野地区	地域おこし協力隊について、釜石市では面倒を見ていないのではないか。相談体制が出来ていない。若い人が来ているのに定着に繋がるような動きを担当部署は行っていないのではないか。	<p>地域おこし協力隊へのサポートとして、①隊員同士の活動状況の共有の場として、月1回の定例会の開催、②伴走支援を委託している企業による月1回の面談、③隊員と市、委託業者による3ヵ月に1度の三者面談などを行っております。定例会や面談の頻度につきましては、隊員各々の希望に沿った形で行っているほか、日々の困りごとに関しても、随時、対面や電話・メール・SNSで相談を受けており、隊員からは現状のサポート体制で良いとの評価を得ております。</p>
23	7月22日	橋野地区	橋野鉄鉱山への観光客は、昨年に比べ今年は減っている。観光客を増やすためにも県道35号線のトンネル化など抜本改良に向けて取り組んでいただきたい。	<p>県道35号線（主要地方道釜石遠野線）は、“岩手県東日本大震災津波復興計画”において、復興関連道路に位置づけられた重要路線であります。</p> <p>トンネル化などの抜本改良については、地域課題として取り上げられていると認識しており、市といたしましても岩手県に対して要望してきた結果、県事業において、平成29年度から笛吹峠地区の道路改良事業が実施され、一部すれ違いが困難な状況の緩和等が行われてきました。</p> <p>現在は、青ノ木～中村地区の改良を実施していただいているところであり、引き続き、県に要望を実施し、道路改良の促進を図ってまいります。</p>
24	7月22日	橋野地区	地域会議では、要望に対して出来ないとか、善処するとのやり取りがあるが、そもそも市職員は市民とのキャッチボールが面倒くさいのかもしれない。行政マンとして真摯に取り組んではほしい。	市民の皆様と協力し合って暮らしを支えていくことが市職員の使命であることから、引き続き職員の資質の向上に努めてまいります。

「市民と語る会」で市民から寄せられた意見等と市当局からの回答

No.	日時	開催地域	市民からの発言（概要）	回答
25	7月22日	橋野地区	観光関係の集会で、花巻市が発行している「過去のことではなく現在進行形で努めている事業のことがあふれているパンフレット」等の話を聞いてきた。当市でも考えてはどうか。	花巻市及び関係機関に確認しましたが、当該パンフレットを確認できませんでした。パンフレットの名称等を詳しく教えていただいた上で、今後のパンフレット作製の参考にしたいと思います。
26	7月22日	橋野地区	釜石市の社会科副読本(小学生用)は、語りが難しいのでわかりやすくすべきではないか。	社会科副読本は教科書の内容及び記述をもとに作成しております。内容によっては当該学年の児童には難しい記述もあるかもしれません。社会科副読本の改訂に合わせて記述についても検討いたします。
27	8月6日	甲子地区	旧大松小学校の体育館を利用して卓球を行っているが、老朽化も進んでおり、必要なものについて修繕して欲しい。まちづくりに関しては甲子のほうにも目を向けて意見を聞いて欲しい。	体育館については、大規模な修繕は財政状況等を含め検討を要するものの、避難所にも指定していることから、利用者の意見を聞きながら、利用に影響が生じないように対応してまいります。なお、当市の公共施設については、現状の全ての施設を今後も保有した場合、施設の維持管理費に加えて将来の大規模改修や更新費用が不足することは明らかであり、市全体の施設総面積を削減することは避けて通れない課題となっています。体育館等も同様に、施設の利用状況、地域の実情や財政状況等、今後の状況を見極めながら施設の統廃合、大規模改修等を検討してまいります。 また、まちづくり課では、各地区生活応援センターを中心となって、全ての地区において、地域会議などにより意見の吸い上げを行っています。地域づくりにしましては、公民館事業、保健事業を通して交流及び健康事業による生きがいづくりを行っております。甲子地区においても同様であり、甲子、小佐野、中妻の3地区の合同事業を開催するなど、他の地区との交流も図ってまいります。
28	8月6日	甲子地区	漁協の合併の話も出ているが、魚が取れなければ合併しても同じではないか。	合併は経営の効率化や財務基盤の強化など強靭な組織構築に資するものであると認識しております。 引き続き、県漁連等と連携しながら、組合員の負託に応える漁協構築に向け、組織強化に取り組んでまいります。

「市民と語る会」で市民から寄せられた意見等と市当局からの回答

No.	日時	開催地域	市民からの発言（概要）	回答
29	8月6日	甲子地区	釜石には大橋鉱山、鉄の歴史館、郷土資料館、橋野鉄鉱山と世界遺産に関する観光スポットが離れた場所にある。それに対しどのように考えているか。	<p>釜石市の世界遺産関連施設は釜石鉱山展示室Teson(国登録有形文化財旧釜石鉱山事務所)、鉄の歴史館、郷土資料館、橋野鉄鉱山インフォメーションセンターの4箇所で、各々離れた場所に所在しております。</p> <p>これらを周遊していただくための取り組みとして、橋野鉄鉱山と鉄の歴史館でのスタンプラリー(随時)、市内10か所(10種類)での橋野鉄鉱山ARカードの配布(随時)、いのちをつなぐ未来館を含めた5か所の歴史文化施設での缶バッヂプロジェクト(季刊)を実施しております。</p> <p>また、三陸ジオパークとの連携や日本風景街道(鉄のみち)、岩手県3つの世界遺産、明治日本の産業革命遺産世界遺産協議会、世界遺産地域連携会議などとの連携の中で、モデルツアーアー等を誘致し、周遊のPRを行っておりますが、観光資源として取り扱う地元業者の醸成については課題点があり、その解決に向けて尽力していきたいと考えております。</p>
30	8月6日	甲子地区	大槌町では防犯灯の電気代を支出しているようだ。町内会の防犯灯の電気代への支出が大きく大変なので、防犯灯税のようなものを導入するなど財源を作つて市全体で明るいまちづくりに取り組むようなことは出来ないか。	町内会の皆様の負担増加を避けるため、まずは市の予算内での効率的な運用や他の財源を活用することの必要性について、検討してまいります。
31	8月6日	甲子地区	町内の空き家の数が相当数ある。動物の住処となったり、雑草が伸びてきたりと困っているが、市役所が何故所有者に対し呼び掛け、話し合ってくれないので。	当市では、空家等の発生の抑制、活用の拡大、適切な管理の確保及び除却等に係る取組を推進しております。近隣に影響を及ぼしている空家等については、所有者等に対して適正管理の依頼を行いますので、空家等の所在地及び状況を確認の上、ご相談をお願いします。